2022年（令和4年）
第37号
（9月1日）

平安だより

HEIAN letter

発　行　所：立正佼成会　京都教会
発行責任者：渉外部長　田中規之
編集委員長：渉外広報　植田恭司
〒605-0041　京都市東山区三条東町 230
TEL (075)762-2211　FAX (075)762-2266

今月のことば　～信じるものがある幸せ－禅定～　京南支部長　廣岡良枝

今月は京南支部の廣岡が担当させて頂きます。よろしくお願いします。

佼成９月号を拝読させて頂きました。会長先生から、『信じるものがある幸せ』と、教えて下さっております。信じるもの…それは何なのか、どういうものなのか。まずそこに心がいきました。信じる…人となると、難しいこともある。それは、裏切る時もあるから。何を信じるのか！考えてみると、私たちは、知らず知らずに、いろんなことを信じて生きてるのではないかと、感じました。

空気があるから安心して吸える、蛇口をひねると水が出ると信じてるから蛇口をひねれる。何が出てくるかわからなかったら、水が出ると信じてなかったら蛇口をひねることは出来ない。電車やバスに乗れば、目的地に着けると信じてるから、安心して乗れる。他にもありとあらゆるものを、無意識のうちに信じて生きている。誰にでも当てはまる、普遍の心理の中で生きている。

そう思うと、生きていることの中に信じるものがたくんあり、生きていることそのこと自体が幸せなんだと、感じました。

私は、高校３年生の夏から、自ら活動に参加するようになり、40 年にもなります。良き仲間の中で、教えを学ばせて頂いてきました。いろんな事がありましたが、母から繋いで頂いた、この信じるもの、この教えのおかげさまで、幸せを感じて生きていける事に、感謝の思いでいっぱいです。

今、コロナ禍でもあり、いろんな思いで生きています。諸行無常、諸法無我、因縁果報など、根本的な真理を知ることで、また、会長先生から、今の自分の行動や、目の前の現実をよく見て、受け止めて、心の焦点を真理に合わせることで、心穏やかに迷いのない、落ち着いた心(禅定)で暮らせる。常に、物の見方、受け止め方の大切さを、教えて頂きました。ありのままを見て、そして感謝で受け止めていくことが習慣になるように、意識していきたいと思います。

私自身の子供達にも、この真理、教えを知って、心穏やかに生きていって欲しいと願ってます。我が子だけではなく、まだまだ知らない人達へ伝えていくこと、慈悲の光を届けられるよう、皆さんと共に、菩薩行に励みたいと、改めて感じさせて頂きました。
ありがとうございました。　　合掌

あなたのお仕事を教えて下さい　～乙訓支部　三好良和さん～

Ｑ：仕事先はどちらですか。
Ａ：京都通運梅小路支店

Ｑ：どのような仕事内容ですか。
Ａ：JR 貨物コンテナ輸送大型運転手で職歴は 35 年になります。
JR ターミナルに全国から到着したコンテナを大型トラックに積み、主に京都、滋賀の工場や倉庫を中心にコンテナ内の荷物の配達、集配を行っています。様々な荷物をリフトまた、手積み手卸しで作業しています。

Ｑ：仕事中に心掛けていることがあれば教えて下さい。
Ａ：大型トラックの運転手として、特に安全運転と得意先の荷物を丁寧に扱い事故のないように心掛けています。

令和４年、私たちは「どこでも道場　祈り祈られ　笑顔と涙によりそおう」を実践して参ります。

京都教会のホームページが出来ました。https://rkk-kyoto.jp/